

森林における放射性物質拡散防止等技術検証・開発事業(継続)

【平成25年度概算決定額（復旧・復興対策）100,000(187,583)千円】

事業のポイント

集落周辺等の森林において森林施業等による放射性物質拡散防止・低減等技術の検証・開発を行います。

<背景/課題>

- ・東日本大震災に伴い発生した原子力発電所事故により放射性物質に汚染された地域では、避難している住民等のふるさとへの帰還等に向けて除染等を推進することとしていますが、地域の約7割を占める森林は、水源のかん養など公益的機能を担っており、慎重な取扱いが必要です。このため、災害等による放射性物質の拡散を防止しつつ、徐々に低減させていく技術の検証・開発を行う必要があります。

政策目標

「森林における放射性物質の除去及び拡散抑制等に関する技術的な指針」への反映

<内容>

1. 検討委員会の設置・運営等

森林施業、森林土木、放射線に関する学識経験者等からなる検討委員会を設置し、森林施業等に伴う放射性物質拡散防止対策等の検討を行います。

2. 保育・伐採等の森林施業等に伴う放射性物質拡散防止及び低減効果の検証

主伐や間伐等森林施業を実施するとともに、施業実施前後の森林内、森林から流出する表面水等における放射性物質のモニタリング調査等を行い、森林施業に伴う放射性物質拡散防止、低減効果等を検証します。

また、平成24年度に事業を実施した箇所においても既設の設置機材を用いて継続調査を行います。

<委託先>

民間団体等

<事業実施期間>

平成24年度～28年度（5年間）